

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスー之江教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～ 令和7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～ 令和7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供や保護者のニーズ、また子供の特性に合わせて支援を行っている。	保護者の方に聞き取りシートの記入や面談を実施して計画書の更新を行っている。 活動時は子供の特性に合わせた環境づくりや支援方法を考え、支援を行っている。	職員のスキルアップや専門性を高める取り組みを行い、より多くの視点をもった支援を目指す。 学齢や子供に合わせたトレーニング内容の構築。
2	子供や保護者が安心して利用できる環境づくりを行っている。	ミーティング時に利用する子供たちの近況の情報交換を行い、配慮する点や支援方法など、全職員が共通認識をもって支援を行えるようにしている。また明るい教室の雰囲気や教室の設備の見直しなどを意識して行っている。	職員間で話し合いやすい風通しの良い環境づくりを意識する。共有した情報を元に支援に生かせるようスキルアップを目指す。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流がないこと。	希望されない利用者の方もいるため、積極的に行うことはなかった。	希望されない方の意見も受け入れながら、なごみの家などの活用を検討していく。
2	建物の構造上、送迎時に保護者の方から話を聞きにくいこと。	利用者のお迎えの時間が重なった場合にエントランスに保護者が密集するため、個別に話したいことや相談を受けにくいことがあった。	積極的な面談や、電話やメールの活用。 相談室まで来ていただけるよう導線確保する。
3			